

講演には液晶プロジェクタを使用することができます。液晶プロジェクタによる発表には、会場備え付けのパソコン（ウインドウズXPおよびパワーポイントがインストールされています。動画などパワーポイント以外のプレゼンテーションソフトは使用できませんのでご注意ください）を使用していただきます。ファイルはCD-RまたはUSBフラッシュメモリでお持ちいただき、会場備え付けパソコンへのファイルのコピーは各自で行っていただきます。OHPは使用できませんのでご注意ください。

平成 18 年企画発表プログラム

(2006年2月17日現在)

◆◆◆◆ 第 1 日 3 月 27 日 (月) ◆◆◆◆

[A] 海に生きる一人類の持続的発展のために今なすべきこと一

第 3 会場

講演 番号	開始 時刻	講 演 題 目	○講演者・共同研究者
			企画者：山崎哲生（産総研）
A-1	13:00	海に生きる（企画者挨拶）	産総研○山崎哲生
A-2	13:10	海洋深層水利用の必要性と可能性	大阪府立大○大塚耕司
A-3	13:50	海洋再生可能エネルギー利用の必要性と可能性そして実現性	東大○鈴木英之
	14:30	…………… 〈休憩 20 分〉 ……………	
A-4	14:50	メタンハイドレートからのガス開発の必要性と可能性	東大○増田昌敬
A-5	15:30	マンガン団塊、コバルト・リッチ・クラスト、黒鉱型海底熱水鉱床開発の必要性と可能性	産総研○山崎哲生
	16:10	総合討論	

[G] 粉砕および粉体機能化におけるコンタミとその制御

第 4 会場

講演 番号	開始 時刻	講 演 題 目	○講演者・共同研究者
			企画者：遠藤茂寿（産総研）
G-1	9:00	基調講演 1 粉砕機の摩耗と対摩耗材料	太平洋セメント○伊藤 光
G-2	9:25	基調講演 2 粉体中の微量不均一性制御の重要性 - 材料特性との関係を中心に -	大阪大○内藤牧男
G-3	9:50	媒体型攪拌ミルのコンタミに関して	三井鉱山○郡司 進
G-4	10:10	遊星ミル内の媒体運動から見たコンタミ解析	東北大 佐藤 英○加納純也・齋藤文良
G-5	10:30	媒体攪拌ミルによる湿式粉砕における媒体の摩耗	産総研○内田邦夫・遠藤茂寿
G-6	10:50	湿式ボールミル粉砕における微砕性と粉砕媒体磨耗	山形大 小竹直哉・小林 篤○神田良照
G-7	11:10	最新 凝集ナノ粒子の分散（湿式）技術	寿工業○院去 貢
G-8	11:30	食品素材の粒度調整とコンタミ	日清製粉○宇秋山聡
G-9	11:50	コンタミレス粉砕サイクロンミル	静岡プラントサービス○戸田泰寛

[B] 重金属類による土壌汚染とその浄化**第5会場**

講演番号	開始時刻	講演題目	○講演者・共同研究者
			企画者：千田 信・井上千弘（東北大）
B-1	9:00	重金属類による土壌汚染の概要	東北大○千田 信
B-2	9:30	土壌中の重金属類の形態とその浄化方法	東北大○井上千弘
B-3	10:00	重金属汚染土壌の調査事例（予定）	パシフィックコンサルタンツ ○堀 常男（予定）
B-4	10:30	植物を利用した重金属汚染土壌の浄化（予定）	フジタ○近藤敏仁（予定）
B-5	11:00	鉛汚染土壌の浄化事例（予定）	三井金属鉱業○星野浩二（予定）
B-6	11:30	シアン汚染土壌浄化技術（予定）	スミコンセルテック○牛尾亮三（予定）

◆◆◆◆ 第2日 3月28日（火） ◆◆◆◆

[C] 地球情報学での時空間モデリング法の展望—高精度イメージングのために— 第3会場

講演番号	開始時刻	講演題目	○講演者・共同研究者
			企画者：小池克明（熊本大）
C-1	9:00	方位要素を考慮した地球統計学—石油貯留槽間の亀裂分布シミュレーションへの応用—	熊本大○小池克明・劉春学, 日鉱探開 三箇智二
C-2	9:20	A Study on Uncertainty Assessment in Multilayer Coal Deposit	Kumamoto Univ. Mohamad Nur Heriawan・Katsuaki Koike
C-3	9:40	地球統計手法による各種比抵抗探査データの統合と水理地質・水質分布のモデル構築	清水建設○本多 眞・桜井英行・岩佐健吾・鈴木 誠 日本原子力研究開発機構 松井裕哉
C-4	10:00	地球統計学シミュレーションによる MT 比抵抗の空間分布モデリング	産総研○麻植久史
	10:20	……………〈休憩 20 分〉……………	
C-5	10:40	時空間ヴァリオグラム：一連の降雨の連続性の解析	東大○正路徹也
C-6	11:00	Formulating Multivariate Space-time Geostatistics and Its Application to Sea Environmental Data	Kumamoto Univ. Chunxue Liu・Katsuaki Koike
C-7	11:20	生産トモグラフィ手法を用いた石油レザーバのキャラクタリゼーション	京大○松岡俊文
C-8	11:40	GIS の高度化	産総研○古宇田亮一

[D] 粉体精製とその応用**第5会場**

講演番号	開始時刻	講演題目	○講演者・共同研究者
			企画者：藤田豊久（東大）
D-1	9:30	粒子の形状と鋭さの評価	一関工高専○佐野 茂・二階堂満
D-2	10:20	循環型社会機構に向けた研究開発の歩み	秋田県立大○坂本 宏

◇◆◇◆◇ 第3日 3月29日(水) ◇◆◇◆◇

[E] 鉱業史**第1会場**

講演 番号	開始 時刻	講演題目	○講演者・共同研究者
E-1	9:30	第1回古代銅製錬法復元試験結果とその意義	企画者：梶原敏孝（日本鉱業史研究会） 日本鉱業史研究会○植田晃一
E-2	10:00	熔離法の始まりと伝播—南蛮吹の源流を求めて—	日本鉱業史研究会○井澤英二
E-3	10:30	いわゆるテルル金鉱について	日本鉱業史研究会○大石 徹
E-4	11:00	神岡茂住地区清五郎谷における銀鉛銅生産	九大○吉川竜太・本村慶喜・中西哲也 日本鉱業史研究会 井澤英二
E-5	11:30	前近代ヨーロッパの鉱山における水車の利用	九大○中西哲也

[F] 資源・素材系技術者教育と技術者資格の現状**第3会場**

講演 番号	開始 時刻	講演題目	○講演者・共同研究者
F-1	9:30	国内における技術者教育の現状	企画者：山口 勉（産総研） 産総研○山口 勉
F-2	10:00	国内における技術者資格の現状	日本技術士会○高橋 毅
F-3	10:30	海外における技術者教育 I	東大○増田昌敬
F-4	11:00	海外における技術者教育 II	東邦大○金田博彰